

テーマ：『 地域の自然との関わり合いを通じた環境教育 』

北九州市立 湯川小学校

Tel. 093-951-0521 担当者： 古賀 芳男



■実践内容:

本校では、「自然のことを学び、ふるさとを愛する子どもたちを育てたい」という願いのもとに造られた「ほたる広場」や「ビオトープ」を活かし、地域・保護者とともに、環境学習に取り組んでいる。

4年生は、シャープから講師を招き、「地球温暖化と生態系保護とリサイクル」をテーマに環境学習を行った。5年生はビオトープのヤゴの生息調査を行った。シオカラトンボのヤゴが増え、昨年まで、いなかったイトトンボやギンヤンマのヤゴがたくさん見つかった。6年生は、地域のトンボの生息調査結果から、地域の自然環境について考えるようになった。また、生き物委員会の子どもたちが地域の方から飼育の指導を受けながら、ほたるの幼虫の飼育に取り組んでいる。学校で飼育した幼虫を校区内の小原川にも放流した。

■実践成果:

- 湯川の伝統である「ほたる」や「ビオトープ」の活性化を図り、それを学習に生かし、環境学習を進めたことが教育課程再編につながった。
- 保護者や地域の方の協力で、ほたるの幼虫の飼育活動など、学校だけではできない体験や活動を展開することができた。

■実践ポイント:

- 子ども・保護者・地域が一体となったふるさとを愛する環境学習の展開